

創薬サイエンス研究支援拠点 研究支援セミナー

創薬サイエンス研究支援拠点では、新規導入したSHIMADZU社製『液体クロマトグラフ質量分析計：LCMS-8060システム』『イメージング質量顕微鏡：iMScopeQT』を用いた解析支援を開始しました。質量分析の基礎、導入された機器での解析事例をセミナーでご紹介します。

オンライン開催
事前申し込み要
8 / 19 日

日時：2021年8月26日（木）
15：00～17：30

内容：1. 液体クロマトグラフ質量分析計の基礎：LCMSって何？
2. 液体クロマトグラフ質量分析計のアプリケーション
Ready to use！LCMS-8060システムの紹介
3. イメージング質量顕微鏡：iMScopeQT の紹介

※詳しくは次ページでご確認ください。

参加方法 ※8月19日までにメールでお申し込みください。

メールタイトルを『8月26日セミナー申込み』とし、
【①氏名 ②所属 ③職名（または学年）】をご連絡ください。
受付後、8月24日までに必要事項をメールでご連絡いたします。

申込先

大阪大学薬学研究科 創薬サイエンス研究支援拠点（担当：川脇）
lsc-info@phs.osaka-u.ac.jp

創薬サイエンス研究支援拠点ではAMED と連携して、
優れたライフサイエンス研究の成果を
医薬品等の実用化につなげることを目的として研究支援を行っています。

<支援内容>

- 製薬企業で創薬経験を有する研究者による創薬に関する相談、研究支援
- 化合物ライブラリーの提供支援
- 生化学研究機器の利用

- 研究支援に関するお問い合わせ先
研究支援のご相談は随時受付しております。
詳しい情報はHPでご案内しております。

http://www.phs.osaka-u.ac.jp/souyaku_kyoten/

<e-Mail> lsc@phs.osaka-u.ac.jp



大阪大学 公式マスコットキャラクター
「ワニ博士」薬学部の頃

セミナースケジュール



1 15:00~15:50 (50分)

液体クロマトグラフ質量分析計の基礎：LCMSって何？

液体クロマトグラフ質量分析計(以下、LCMS)は、創薬や化学分野以外にも広がりを見せており、様々な研究現場で使用される分析装置になっています。“LCMSってよく聞くけど、どんな装置？”を解消する基礎的な内容から、“どんなことができるの？”を解消するアプリケーションの紹介まで、より身近に感じて頂ける内容です。今までLCMSに馴染みの無い方も是非聴講を頂けると幸いです。



2 15:50~16:40 (50分)

液体クロマトグラフ質量分析計のアプリケーション

Ready to use! LCMS-8060システムのご紹介

液体クロマトグラフ質量分析計は薬剤投与後の動態確認だけでなく、一次代謝物や脂質等の生体内活動におけるキー化合物の定量スクリーニングにも応用されています。島津製作所では、前処理プロトコルから分析条件(HPLCやLCMSのモニタリング条件等)の“一からの検討なくとも、測定ができるメソッドパッケージ”を各種扱っています。今回はLCMS-8060システムの概要、および関係アプリケーションを紹介させていただきます。

(参考情報) https://www.an.shimadzu.co.jp/lcms/lcmsms_methodpackage.htm

3 16:40~17:30 (50分)

イメージング質量顕微鏡：iMScopeQTの紹介

分子の分布を観察できるOnly-one光学顕微鏡内蔵型の質量分析計！

顕微鏡で観察した領域を質量分析計によって測定し可視化するイメージングMSは、最先端の技術としてマーカ探索・創薬などへの応用に注目されています。イメージング質量顕微鏡iMScope QTでは、弊社独自の高出力レーザー光学系と高精度な試料移動システムにより、5 μ mという世界最高の解像度で質量分析画像を高速に取得し、分子の分布を解析できます。今回、iMScopeQTを生体サンプルの分析に適用した例を中心に紹介させていただきます。

(参考情報) https://www.an.shimadzu.co.jp/bio/imscope_qt/index.htm



◆上記セミナー内容に関するお問い合わせは…

奮ってご参加ください！

株式会社 島津製作所 関西支社
分析計測営業部 第1グループ 担当：西本 大祐
TEL：06-6373-6545
Email：ndaisuke@shimadzu.co.jp